

朝寝坊し、天狗平に七時過ぎに到着。我慢して梶川峰を登り、銀色の尾根を登って行く。銀色の飯豊山荘の屋根がなかなか小さくならない。石転び沢、梅花皮（かいらぎ）滝を眺めながら梶川峰で昼食。少

し急いで「扇の地紙」に着く。門内岳から木山までダウソードを繰り返し、十七時過ぎ、漸く頬母木(たもぎ)まる紅葉、雲海に浮かぶふるい差岳が素晴らしい。アップ



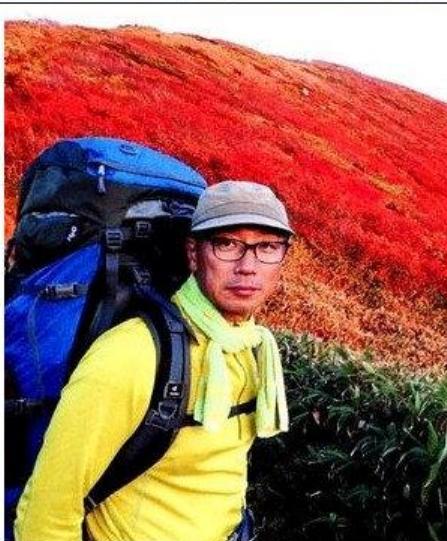
十月八日(甲)、九日(乙)

木小屋

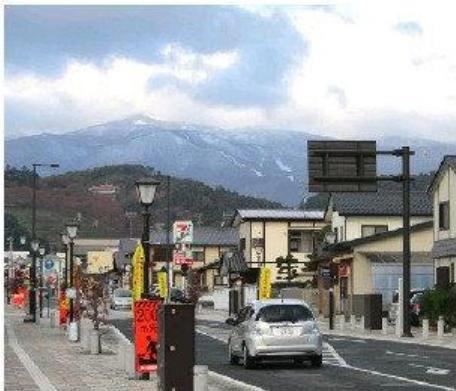
小屋に到着。小屋は清貧衛
礼で、既に宴会が始まつて
いた。テント場は八張位か。
小屋自慢のバイオトイレ

星は十分、掛け流しだ。
翌日は 地神北峰まで登り返し、丸森尾根を我慢して下って来た。温身（ぬくみ）平まで足を延ばし、遅い昼食を食べて帰路に着いた。今まで一番大変な山行だった。次回は 石転び沢、大嵐（ダイイグラ）尾根が視

●編集部連絡先
二本松市郭内1-5-5
0243(22)4245
渡辺正



十月三十一日(火) 安達太良山 初冠雪



初冠雪　十月三十一日(火)に二本松市内から安達太良山の初冠雪を確認できました。十月末は早いほうで大体は十一月になります。実は会員の竹部さんから十月十九日に『今日はとても寒いですね。あだたら

ら、初雪です。峰の辻から上は、真っ白だったそうで、山友から連絡きました」と言うメール頂いていました。スカイラインの浄土平で初雪だった日です。しかし安達太良山のその様子は雲で未確認、その後何度か晴れましたが、暖かな一日が続いたり台風が来たりで、冠雪の状態ではありますませんでした。二十九日に台風が通過、昨三十日は寒気が入り多分降雪、しかし晴れず、今朝ようやく日が射してきました。

の骨折は寝たきりになると言ふ話を思い出し、私もそうなってしまうのでないかと思う様になつて來た。四週間目からは体重の三分の一を掛けられる様になつた。り、松葉杖歩行となつた。

来る様になるのではなく、いかが
と思う様になつて来た。体力
作り、リハビリに頑張る
うと思う様になつて来て、
気持ちも晴れて来た様だ。
またこの本で考え方をされ
る事が多々あった。私もそ

皆も楽しい思い出になる
行が出来るのはない
と思う。諦めず低山山行
を楽しみたいと思つて
る。これからもよろしく
お願ひ申し上げます。

なつてしまい申し訳あります
せんでした。また入院中は
御見舞・元気を戴きありが
とう御座いました。
八月二十六日入院、三十
日に手術。その後三週間は
ベット・車椅子移動。左足
の筋肉は落ち、体重も三キ
ロ減らず、一から出直せば
雄一郎の本と出会うことが
出来た。初めは時間つぶし
に読み始めたのだが、あき
とができない。
そんな時「高く遠い夢」
七十歳エベレスト登頂とい
うプロスキー耶一三浦

道を譲るをしていない。また装備を付けるにも時間が掛かり手伝って貰っている人など、他の登山者に不愉快やストレスを与えている人が、安達太良や吾妻山あたりにいる様だ。山登りのルールは立派なままで登る

御挨拶、経過報告

指掌善雄

の一人だったかも知れない
が、山の名前に引かれ、自
分の体力も技術もノベレキ